



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
 コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 谷井 剛
 (氏名) 山本 忠幸
 TEL 03-3233-1301

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,774	18.1	806	47.5	761	52.9	478	22.9
2019年3月期第3四半期	13,358	16.2	546	34.5	498	19.6	388	38.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 478百万円 (22.5%) 2019年3月期第3四半期 390百万円 (38.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.64	
2019年3月期第3四半期	23.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,317	3,019	22.6
2019年3月期	12,501	2,824	22.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,007百万円 2019年3月期 2,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		10.00	17.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)				10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	9.0	900	1.3	840	5.0	590	0.0	35.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,693,200 株	2019年3月期	16,693,200 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	5 株	2019年3月期	5 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,693,195 株	2019年3月期3Q	16,693,197 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善などが見られるなど回復基調で推移したものの、2019年10月の消費税率引上げや米中貿易摩擦の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの中核的な事業領域である情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」・「AmaVo」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックス及びタクトシステム㈱においては、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、中堅・小規模法人からのニーズが強い「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が157億74百万円（前年同四半期比18.1%増）、営業利益が8億6百万円（前年同四半期比47.5%増）、経常利益が7億61百万円（前年同四半期比52.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億78百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」は、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。特に個人向けインターネットサービス、モバイルサービス等再卸の契約獲得が順調に伸びたこと等により売上高・利益に大きく寄与し、当第3四半期連結累計期間の売上高は125億78百万円（前年同四半期比25.3%増）、セグメント利益は6億14百万円（前年同四半期比130.9%増）となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。先行き不透明な景況感に伴う企業の印刷物の縮小により、当第3四半期連結累計期間の売上高は12億26百万円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント利益は39百万円（前年同四半期比51.3%減）となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。法人向け保険の税法上の適用ルール見直しによる影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は19億68百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益は1億51百万円（前年同四半期比24.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は133億17百万円となり、前連結会計年度末比8億15百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の減少（3億58百万円）、受取手形及び売掛金の増加（3億24百万円）、未収入金の増加（1億60百万円）、前払費用の増加（3億93百万円）及び長期前払費用の増加（4億15百万円）によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は102億97百万円となり、前連結会計年度末比6億20百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（83百万円）及び短期借入金の増加（4億58百万円）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における非支配株主持分の残高は11百万円となりました。また、純資産の残高は30億19百万円となり、前連結会計年度末比1億94百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,948	1,126,862
受取手形及び売掛金	2,912,407	3,237,017
商品及び製品	72,598	71,382
仕掛品	17,169	63,472
原材料及び貯蔵品	284,286	164,694
未収入金	1,913,838	2,074,077
前払費用	1,829,045	2,222,463
その他	103,878	76,061
貸倒引当金	△130,786	△131,598
流動資産合計	8,487,385	8,904,432
固定資産		
有形固定資産	94,498	110,888
無形固定資産		
のれん	505,945	460,310
その他	386,986	389,140
無形固定資産合計	892,931	849,451
投資その他の資産		
長期前払費用	2,448,066	2,863,626
その他	823,618	889,650
貸倒引当金	△244,800	△301,004
投資その他の資産合計	3,026,883	3,452,273
固定資産合計	4,014,313	4,412,613
資産合計	12,501,699	13,317,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,159,674	2,242,960
短期借入金	3,962,000	4,420,000
未払金	2,396,645	2,397,781
未払法人税等	193,553	182,311
賞与引当金	134,683	123,313
役員賞与引当金	50,500	54,250
その他	405,597	545,620
流動負債合計	9,302,654	9,966,237
固定負債		
長期借入金	150,000	105,000
退職給付に係る負債	224,260	223,657
その他	—	2,700
固定負債合計	374,260	331,357
負債合計	9,676,914	10,297,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	2,228,768	2,423,053
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,813,474	3,007,759
非支配株主持分	11,310	11,692
純資産合計	2,824,785	3,019,451
負債純資産合計	12,501,699	13,317,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	13,358,260	15,774,447
売上原価	9,219,606	10,705,268
売上総利益	4,138,654	5,069,179
販売費及び一般管理費	3,592,254	4,263,002
営業利益	546,400	806,176
営業外収益		
受取利息	45	504
違約金収入	17,144	10,302
その他	5,681	1,463
営業外収益合計	22,871	12,270
営業外費用		
支払利息	15,378	23,342
持分法による投資損失	5,718	—
貸倒引当金繰入額	48,643	33,270
その他	1,317	6
営業外費用合計	71,058	56,619
経常利益	498,213	761,827
特別利益		
固定資産売却益	17	27
特別利益合計	17	27
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,134
固定資産除却損	2,226	763
抱合せ株式消滅差損	—	45,247
特別損失合計	2,226	47,145
税金等調整前四半期純利益	496,004	714,709
法人税、住民税及び事業税	130,031	276,044
法人税等調整額	△24,521	△39,785
法人税等合計	105,509	236,259
四半期純利益	390,494	478,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,516	381
親会社株主に帰属する四半期純利益	388,978	478,069

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	390,494	478,450
四半期包括利益	390,494	478,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,978	478,069
非支配株主に係る四半期包括利益	1,516	381

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IP&Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション事業	コンサルティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,040,150	1,267,344	2,050,765	13,358,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,865	54,158	3,877	77,901
計	10,060,015	1,321,503	2,054,643	13,436,162
セグメント利益	266,294	80,939	199,734	546,968

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	546,968
セグメント間取引消去	△567
四半期連結損益計算書の営業利益	546,400

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンサルティング事業」セグメントにおいて、当社連結子会社の株式会社保険ステーションは、株式会社 Eternal Best Partnerからの事業譲受により、のれんが198,159千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	I P & M o b i l e ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション事業	コンサルティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	12,578,914	1,226,737	1,968,795	15,774,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,678	35,883	6,935	64,496
計	12,600,592	1,262,620	1,975,730	15,838,944
セグメント利益	614,969	39,433	151,463	805,866

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	805,866
セグメント間取引消去	309
四半期連結損益計算書の営業利益	806,176